

産業能率大学 情報マネジメント学部

日商簿記検定3級対策講座	履修年次	1	
	単位	2	
友寄 隆哉、新井 立夫	配当期	後	
	授業方法	演習 / 対面	
<b>授業の内容</b>			
<p>[授業の概要]</p> <p>日商簿記検定3級対策は、①仕訳の学習、②試算表の学習、③決算(精算表、貸借対照表・損益計算書の作成)の学習と3本の柱がある。本授業では、まず①仕訳の学習で3級の出題範囲の仕訳を固める。これが3級対策の土台となる。簿記一巡の手続きの入口である。次に②試算表の学習に入る。①で学習した仕訳の知識を駆使し、取引を分類・集計して試算表を作成する。これは簿記一巡の手続きの中間集計にあたり、3級合格のためにもまた簿記の本質的な理解のためにもとても重要な分野である。最後に③決算(精算表、貸借対照表・損益計算書の作成)を学習する。①、②と並び3級の合否を左右する重要な分野である。以上①②③を柱としてそれ以外の分野(会計帳簿や伝票など)もメリハリをつけて学習する。テキストを漫然と学習するのではなく、検定試験合格を目標としつつも簿記の真の実力養成をも視野に入れた講義構成とする。大量の課題を課す。将来のために果敢に取り組んでほしい。</p>			
<b>この科目の到達目標</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己のキャリア形成のために、日本商工会議所主催の簿記検定試験3級に合格することができる。</li> <li>・小規模な株式会社の会計手続きを習得することができる。</li> <li>・合格するために、相応な時間をかけて練習するなど、意欲的に取り組むことができる。</li> </ul>			
<b>成績評価の方法</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験、課題提出、小テスト、授業外学習および授業出席によって総合的に評価する。</li> <li>・主として検定試験の点数で評価するので、検定合格を必須条件と考えてほしい。</li> </ul>			
週	授業項目	週	授業項目
1	ガイダンス 簿記の基礎	8	固定資産 有価証券 租税公課 資本金
2	日常の手続	9	試算表の作成
3	商品売買	10	決算手続
4	現金当座預金	11	収益の未収・前受け費用の前払い・未払い
5	小口現金	12	財務諸表の作成 伝票会計
6	手形	13	総合演習 仕訳、帳簿、試算表
7	その他の期中取引	14	総合演習 仕訳、精算表